

移住・定住の支援

アナ： 「市長が語る 2023 三島」第 5 回の今日は、「移住・定住の支援」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 最近、全国の自治体などで、移住者を支援する取り組みが盛んであると聞いていますが、なぜでしょうか。

市長： 人口減少や少子高齢化に加え、東京圏への人口集中が大きな社会問題となっています。

三島市におきましても、移住される方が増えている一方で、若い人たちが進学や会社勤めなどで東京圏へ転出したり、生まれてくる子どもの数が減ってきているということもございます。

2040 年には、全国の約半分の自治体が消滅する可能性があるという報告もございます。

アナ： なるほど。それは深刻な問題ですね。

そのような中で、移住希望地ランキングでは、静岡県が 3 年連続で全国 1 位という報道がありました。

また、一昨年は民間の金融機関が実施した「本当に住みやすい街大賞 2021 in 静岡」で、三島広小路が県内第 1 位に選ばれましたし、昨年は、静岡県の発表で、三島市への県外からの移住者数が県内 1 位にもなりました。

移住者から選ばれる人気のまちになっているということですね。

市長： 移住者から人気のあるまちとして、新聞やテレビなどで取り上げていただくことが増えており、大変ありがたく思っております。

アナ： 移住される方への補助制度について教えてください。

市長： 国・県・市が共同で実施しております「移住・就業支援補助金」については、いくつか要件がありますので、詳しくは担当課にお問い合わせをいただくか市のホームページをご確認いただきたいと思います。移住直前の 10 年間のうち 5 年以上かつ直近の 1 年以上を東京 23 区内にお住まいだった方、または東京圏から 23 区内に通勤していた方が、テレワークなどで三島に移住された場合に、単身で 60 万円、2 人以上の世帯で 100 万円を助成いたします。

さらに、令和 5 年度からは、18 歳未満のお子さまがいる場合に、お一人につき 100 万円を上乗せいたします。

アナ： 条件があるということですが、お子さまがいて家族 3 人の場合ですと 200 万円の補助金が支給されるということでしょうか。

市長： その通りです。

さらに、三島市独自の取り組みとして、首都圏からの移住に限らず、

移住に合わせて住宅を取得したり、リフォームされる場合には、購入の場合では最大100万円、リフォームで最大25万円の補助制度もございます。

アナ： 金額が大きな補助制度ですので、利用を希望される場合には、必ず事前に条件をご確認いただきたいですね。

そのほかにも取り組まれていることはありますか。

市長： オンライン移住相談を実施しておりますほか、実際に移住して来られた方で、三島の生活を情報発信してくださっている方に「移住アンバサダー」になっていただき、移住を検討されている方の相談にのっていただいたり、移住に関するイベントに参加していただいたりしております。

アナ： 実際に移住された方の声は貴重な情報ですので、移住アンバサダーの取り組みは、移住を検討される方にとって、とても心強いサポートだと思います。

市長： それから、移住・定住を支援していくうえで、何と言っても重要なのは、実際に住んでいる三島市民の皆さまが住みやすいと感じていただけることです。

その点では、三島を良いまちにしたいというシビックプライドの高い方が多くいらっしゃることも三島の強みであると感じています。

アナ： 本当にそうですね。

三島市が移住先として人気と聞いて大変嬉しく思いましたし、改めて、三島って住みやすくいいところだなと思いました。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。